



International
Day of Light
16 May

日本学術会議 国際光デー記念シンポジウム



日本学術会議
SCIENCE COUNCIL OF JAPAN

～光が拓く科学技術の最前線～

主催 日本学術会議総合工学委員会ICO分科会 共催:国際光年協議会

後援 公益社団法人応用物理学会、一般社団法人日本光学会、一般社団法人日本物理学会、公益社団法人日本化学会、一般社団法人電子情報通信学会、一般社団法人レーザー学会、公益社団法人日本分光学会 (含 予定)

2018年、ユネスコは国際光デーを宣言し、日本学術会議ではこれを記念するシンポジウムをICO※分科会の主催で継続して開催してまいりました。本年も同シンポジウムを開催し、光科学技術がもたらす未来社会や、科学と社会への分野横断的な貢献を展望するとともに、分野の次代を担う新進気鋭の若手研究者間の交流を推進します。

※ICO(International Commission for Optics:国際光学委員会)は、ISC(International Science Council:国際学術会議)のRegular Memberとして、光の科学と技術の発展に向けて活動する国際科学連合です。

日時 令和7年(2025年)7月7日(月) 13:00~17:40

場所 日本学術会議講堂(東京都港区六本木7-22-34 千代田線乃木坂駅5番出口)

プログラム

(11:00 ポスター受付・展示開始)

(12:00 一般受付開始)

13:00-16:00

司会 松尾 由賀利 (法政大学理事副学長・教授)

開会挨拶:

荒川 泰彦 (東京大学特任教授, 元ICO会長)

講演1: 励起子のボース統計性と量子凝縮

五神 真 (理化学研究所理事長)

講演2: 「量子もつれ」を駆使した光量子センシングの進展

竹内 繁樹 (京都大学教授)

休憩

司会 馬場 俊彦 (横浜国立大学教授)

講演3: 最先端レーザープロセス開発と未来社会実装に向けて

奈良崎 愛子 (産業技術総合研究所副研究部門長)

講演4: 光電融合に向けた化合物半導体メンブレンデバイスの展開

松尾 慎治 (NTTフェロー)

閉会挨拶

美濃島 薫 (電気通信大学教授, ICO副会長)

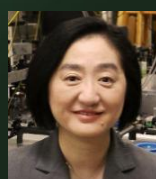
16:00 全国の80を超えるグループの若手研究者によるポスター発表

17:40 閉会

一般参加 可(参加費無料)

定員300名、参加申込先着順。右記URLより申込: <https://forms.gle/usk2UygjnJzu6Mny6>

問い合わせ先: 馬場 (baba-toshihiko-zm@ynu.ac.jp)



<https://forms.gle/usk2UygjnJzu6Mny6>